

2019年2月8日

(全3枚)

京都大学記者クラブ加盟各社 各位  
大分県政記者室加盟各社 各位  
別府市役所市政記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学  
立命館アジア太平洋大学

### 2019年度一般入学試験における選択肢の誤記について

標記につきまして、2019年2月4日(月)に実施いたしました立命館大学および立命館アジア太平洋大学の一般入学試験、「国語」におきまして、選択肢の中に誤記がありました。

内容および対応について、以下の通りお知らせしますとともに、受験生ならびに関係者各位に深くお詫び申し上げます。

#### 記

1. 試験日 2019年2月4日(月)
2. 対象入試方式 一般入学試験「全学統一方式(文系)」、「A方式」
3. 対象学部 立命館大学  
法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、映像学部、  
経営学部、政策科学部、総合心理学部、経済学部、  
スポーツ健康科学部、食マネジメント学部  
立命館アジア太平洋大学  
アジア太平洋学部、国際経営学部
4. 合格発表日 2019年2月15日(金)
5. 内容および対応  
科目名 : 「国語」  
受験者数 : 立命館大学 5,805名  
立命館アジア太平洋大学 338名  
該当箇所 : 大問「二」問5の選択肢2  
(誤) 実態  
(正) 実体  
※問題文の正誤は、別紙の通り。  
対 応 : 該当箇所の配点分(100点満点中2点)を大問「二」の受験生全員に加点し、その上で合否判定を行います。

#### 6. 原因と判明経緯

問題作成・校正時の点検が不十分であったことによるものです。試験実施後に、外部の指摘によって判明いたしました。

#### 7. 受験生への周知方法について

立命館大学入試情報サイトの「お知らせ」および、立命館アジア太平洋大学受験生向け情報サイトの「NEWS」に、本日（2月8日）13時より掲載いたします。

#### 8. 再発防止対策及び大学のコメント

本学では、入学試験問題の作成にあたり、各科目における二重、三重の点検を行う組織的な体制をとってきました。さらに、今年度から、外部による点検の導入、処理フロー体制の再構築などで入試執行体制の整備を図ってきました。今回の事態はこのような点検体制が十分に機能しなかったことから、今一度、点検体制のあり方を見直して再発防止策を検討し、具体化してまいります。

以 上

#### 【本件お問い合わせ先】

立命館大学広報課（担当：石川、桜井）  
電話：075-813-8300

問1 **A** に入れるのに、最も適当なものを、次のなかから選び、その番号をマークせよ。

- 1 深く理解するのは難しいのに、たやすく説明しがちである
- 2 あたり前だと思っているのに、外国人が高く評価している
- 3 知識としてはもちながらも、外国人は気がつくことのない
- 4 まったく気がついていないのに、外国人だけが理解している
- 5 だいたいは気がついていながらも、うまく表現できていない
- 6 もともと気がついていながら、恥ずかしくて隠しがちである

問2 **B** に入れるのに、最も適当なものを、次のなかから選び、その番号をマークせよ。

- 1 表現のニュアンスよりも客体がもつ意味に注目する
- 2 環境や事態を第一に考え結果をあまり重要視しない
- 3 主体が向かおうとする方向を明確にしようとしている
- 4 主語を曖昧にすることで意味に様々な可能性を加える
- 5 対象に込められた意味を主体的に表現することを好む
- 6 状況に埋められた特徴をできるだけ使おうとしている

問3 傍線の「境地」に最も近い例を、次のなかから選び、その番号をマークせよ。

- 1 朝食に出た漬け物を口にし、なんとも言えないその味わいに、子供の頃の祖母が心を込めて作ってくれた古漬の味を思い出し、自分自身の現在がある、その原点に気がつくことができた。
- 2 足利尊氏が建てた持統院の書院に座り、夢窓国師作と伝える庭園を眺めていると、庭のあちこちに込められた作庭者の意図から、尊氏が抱いた国家統一への思いを感じ取ることができた。
- 3 描きたい風景画のテーマを見つけるためのあてもない旅の途中、疲れた身体を癒やすために入った温泉宿の岩風呂の中

中でうとうととして見た夢に、この先に巡りあうことになる岩の絶景を見ることができた。

- 4 料亭に招待され、座敷の床の間の掛軸を鑑賞し、生けてある花に季節を感じ、そうした座敷が醸し出す雰囲気を楽しみながら、出された料理の中に見立てられた主人の趣向を見出すことができた。

- 5 富士山の頂上を目指してゆつくりと登っていくと、山肌に関連する登山者の列は、いつの間にか斜面を登っていく列車となり、自分自身もそれに乗る客の一人となることで、頂上にたどり着くことができた。

問4 **C** に入れるのに、最も適当なものを、次のなかから選び、その番号をマークせよ。

- 1 文化
- 2 写真
- 3 主語
- 4 イメージ
- 5 客体

問5 本文の内容に合致しているものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。

- 1 「おもちゃ」や「おもかけ」は、日本の文化を考える上で重要なキーワードである。著者は、そこに移動性や写意性があることをベルグさんから教わり、これが日本の文化を多様化している原因であると考えた。

- 2 「おもかけ」の「おも」は容貌のことなので、そのイメージはキャッチした主体の中に存在する。しかし、その面影をもつ主体に**実態**は存在しないのであり、姿やイメージは、受け取る側の主体の記憶として維持されている。

- 3 日本語には、他の言語と比較すると擬態語や擬声語が多いことが特徴とされることもあるが、たとえばフランス語と比べてもそれほど大きな違いはない。ところが、英語の場合には、その形態のバリエーションがきわめて少ない。

- 4 日本人女性が「寒い」と言ったのを聞いたベルグさんは、驚きを隠せなかった。その後、レストランで、日本人が「ぼくはカツ丼だ」というような妙な表現をしたのに興味をもち、探究心が湧いてきて、日本研究をすることにした。

- 5 海外の研究者は、日本人が気づかないハシを突いてくることが多い。それは、本来ハシに敏感なはずの日本人がその感覚を忘れてしまい、熟練した大工の棟梁のようにハシを見ることができるとは、ガイジンだけになったからだ。

正しくは「実体」